

# 陸上・田中希実 プロ転向

## 西脇工高出身、ニューバランス所属に

2021年の東京五輪陸上女子1500メートルで日本人初の8位入賞を果たした田中希実(23)は西脇工高出身が3日、新たにスポーツ用品メーカー「ニューバランス」に所属し、プロへ転向すると発表した。東京都内で会見し、「世界のトップで戦いたい。努力する中で、いろんな人や社会に影響を与えられる選手になりたい」と新天地での決意を語った。

**19面1問1答**

小野市出身の田中は、1000メートルと1500メートル、3000メートルの本記録を持つ。東京五輪では1500メートルと5000メートルに出場し、1500メートル準決勝で3分59秒19の日本新記録を樹立。昨夏の世界選手権では、800メートルも含め3種目に挑んだ。今年3月末で実業団の豊田自動織機を退社していた。

プロ転向の経緯について「がむしゃらさやハングリー精神が失われてきているように感じていた」と明かし、「積み重なった自分自身へのフラストレーションが爆発した」と表現。世界を舞台に戦うために「より強い思いと確かな取り組み、そこに対するプロ意識が必要」と決断したという。

今後、国内では地元・兵庫を拠点とし、海外でのトレーニングも増やしたい考え。「これまでの自分や多くの方の思いに報いられるよう、より飛躍した成績を残したい」と力を込めた。(長江優味)



会見でプロ転向への思いを語る田中希実＝3日午前、東京都千代田区神田神保町1

次の2つの記事の田中希実さんのコメントから見出しを考えましょう。

①の見出しは本人のコメントから11字で抜き出しましょう。


1

走ることが大好きだから、挑戦への思いは尽きることがない。3日、ニューバランスを新たな所属先とし、プロ転向を発表した日本の陸上女子中長距離の第一人者、田中希実(23)＝西脇工高出身。会見では世界へ挑む中で  
の苦悩の日々を経て、新たな環境に身を置く覚悟を語った。主な一問一答は次の通り。(26面参照)

### 田中希実プロ転向 一問一答



ニューバランスのシューズを手に、笑顔で写真撮影に応じる田中希実。3日午前東京都千代田区

―決断の経緯は。  
「積み重なった自分自身へ  
のプラストレスが爆発  
した。与えられた環境や自分  
の甘えが目立つレースが増  
え、がむしゃらさやハングリ  
ー精神が失われてきていると  
感じていた。『やりたい』  
後はやっていけない。根っこ  
から自分の居場所をつくり直  
そうと。強い思いと確かな取  
り組みへのプロ意識が大事に  
なると思い、決断した」  
―ニューバランスがポスト  
ンに持つチームと、2月に練  
習した。  
「きつい練習も、挑戦する  
イベントのように取り組む姿  
が印象的だった。自分の居場  
所をつくるという意識で取り  
組んだことがハングリー  
精神だと、振り返って気が付  
いた。今後も一緒に練習する  
機会を増やしたい」  
―プロという肩書につい  
て。  
「期待に応えないといけな  
いという思いが強くなり、か  
つよく走ろうとすることが  
多かった。自分が『こうあり  
たい』と思うことが『ミット  
してがむしゃらに取り組み  
ば、かつ悪くてもプロだと  
思う。かついいけどがむし  
やらさもあるプロを目指した  
い」  
―ファンやジュニアアスリ  
ーへの思いは。  
「プロになりたくてやって  
きたというよりは、速くなり  
たいと思う中で、新たなチ  
ャプター。私のように『もっ  
と速くなりたい』という漠然  
としていることが、自然とプロ  
転向という形になることも  
ある、というのが伝われば」  
―今後の目標は。  
「世界のトップで戦いたい  
というのが一番の目標。努力  
する中で、陸上に限らずい  
んな人や社会に影響を与え  
たい。社会全体の目に留まる選  
手になりたい」

―決断の経緯は。  
「積み重なった自分自身へ  
のプラストレスが爆発  
した。与えられた環境や自分  
の甘えが目立つレースが増  
え、がむしゃらさやハングリ  
ー精神が失われてきていると  
感じていた。『やりたい』  
後はやっていけない。根っこ  
から自分の居場所をつくり直  
そうと。強い思いと確かな取  
り組みへのプロ意識が大事に  
なると思い、決断した」  
―ニューバランスがポスト  
ンに持つチームと、2月に練  
習した。  
「きつい練習も、挑戦する  
イベントのように取り組む姿  
が印象的だった。自分の居場  
所をつくるという意識で取り  
組んだことがハングリー  
精神だと、振り返って気が付  
いた。今後も一緒に練習する  
機会を増やしたい」  
―プロという肩書につい  
て。  
「期待に応えないといけな  
いという思いが強くなり、か  
つよく走ろうとすることが  
多かった。自分が『こうあり  
たい』と思うことが『ミット  
してがむしゃらに取り組み  
ば、かつ悪くてもプロだと  
思う。かついいけどがむし  
やらさもあるプロを目指した  
い」  
―ファンやジュニアアスリ  
ーへの思いは。  
「プロになりたくてやって  
きたというよりは、速くなり  
たいと思う中で、新たなチ  
ャプター。私のように『もっ  
と速くなりたい』という漠然  
としていることが、自然とプロ  
転向という形になることも  
ある、というのが伝われば」  
―今後の目標は。  
「世界のトップで戦いたい  
というのが一番の目標。努力  
する中で、陸上に限らずい  
んな人や社会に影響を与え  
たい。社会全体の目に留まる選  
手になりたい」

(まとめ・長江優咲)

②の見出しとして、25字くらいで本人のコメントをまとめましょう。


田中希実さんの2つの記事を読んで、心に残ったことを40字くらいでまとめましょう。


なまえ【 】

NI Eワークシート／小学校高学年～高校